

第 1 号議案

# 令和 3 年度事業報告書

公益目的事業 : 精神障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援する事業

## 1 自主事業 「熊本県あかねの里の運営事業」

### (1) あかね荘事業

#### ① 短期入所事業

事業内容 : 居宅において障がい者の介護を行っている人が、一時的に介護できなくなった場合に、その障がい者を施設に短期間宿泊させ、入浴や食事等、日常生活上の支援を提供する事業を行いました。新型コロナウイルス感染症対策のため受入れはありませんでした。

実績 : 延0人(実数0人)の方が利用

#### ② 自立訓練(生活訓練)事業

事業内容 : 施設や病院から地域生活への移行や地域生活を送るうえで必要な生活能力の維持、向上を図るため、洗濯・整理整頓などの日常生活能力、金銭・服薬管理の訓練や支援等を宿泊または通所により行いました。

実績 : 延べ5,220人(実数34人)、宿泊での延べ利用者6,953人(実数34人)の方が利用し、うち11人が地域で自立した生活を送っています。

#### ③ 相談支援事業

##### 一般相談支援事業

事業内容 : 広く一般の方(障がい者、家族等)からの、相談に対し、専門の相談員が電話相談、面談、関係機関との連絡調整等、地域で自立して生活するために必要な支援をする事業を行いました。

実績 : 延べ912人の方が利用

### (2) あかねワークセンター事業

#### ① 就労継続支援(B型)事業

事業内容 : 一般就労が困難な方に、就労や生産活動の機会を提供し、働く為に必要な技術や技能、習慣性の習得やコミュニケーション・体力等の向上を図りながら、目的を持って地域の中で生活ができるように支援する事業を行いました。作業は印刷作業、製菓作業、製靴作業、軽作業等を行いました。

実績 : 延べ4,816人(実数26人)の方が利用

#### ② 多目的ホール開放事業

事業内容 : 施設内の多目的ホールを利用してもらうことにより地域住民に障がい福祉サービス事業所に対するの偏見や差別を是正してもらい地域と精神障がい者や障がい福祉サービス事業所との共生を図ることで、精神障がい者の地域生活への移行をスムーズに行えるよう、多目的ホールを広く一般の人や教育機関等に低額な利用料で開放していますが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため受入れはありませんでした。

実績 : 利用者数0人0団体が利用

### (3) あかねホーム事業

#### ① 共同生活援助事業（グループホーム）

事業内容 : 地域において自立した日常生活を送るため、夜間や休日を含め、共同生活を営む住居において、家事、食事、相談などの日常生活上の援助を行う事業。

実績 : 延べ2,331人（実数10人）、の方が利用し、うち5人が地域で自立した生活を送っています。

## 2 委託事業：次の事業を熊本県・熊本市から受託している。

### (1) 精神科救急情報センター事業

事業内容 : 精神科救急情報センターでは、休日夜間において、緊急に精神科医療を要する精神障がい者やその家族等からの電話相談に対応し、必要な助言や医療機関紹介などを行いました。

精神科救急情報センターは、県内の精神科病院が当番制で相談員（当該病院の看護師や精神保健福祉士等）と専門的にバックアップする医師を配置し、的確な対応ができる体制としました。さらに、当法人の自主的な業務として、相談内容の統計分析を行い、結果はホームページに掲載及び参考のため県にも提供しました。また、相談員の対応能力向上のための研修会等にも活用しております。

実績 : 令和3年度相談対応件数 1,255件  
精神科救急情報センター相談員研修実施  
令和3年11月11日（木）オンライン開催 参加者98名

### (2) 精神科二次救急医療事業

事業内容 : 休日・夜間における精神疾患の急激な発症や精神症状の悪化等により、緊急に医療を必要とする精神障がい者等に対応するため、県内全精神科病院が輪番制で当法人の業務として事業を行いました。本事業は、外来対応だけではなく、重症の精神科救急患者への入院対応ができるよう、輪番病院に空床を1床確保しました。

実績 : 令和3年度救急患者数938件（助言指導382件、外来受診305件、入院194件、その他57件）

その他事業1 : 会員である精神科医療機関の相互支援事業
------------------------------

## 1 講演会・研修会事業（精神保健医療福祉従事者の人材育成及び教育研修事業）

事業内容 : 精神科医療の向上のため会員間の知識の共有・問題点の把握等を目的として、会員医療機関を対象に講演会研修会事業を行いました。

- (1) 院長会 年5回開催（7/15、9/16、11/18、1/20、3/17）  
：院長に対して理事会、各委員会、日精協、さらに医師会等からの情報提供及び意見集約を行いました。
- (2) 学術研修小委員会 学術講演会を年5回開催  
：製薬会社等との共催で精神科医療についての学術講演会を企画開催しました。
- (3) 看護部小委員会 研修会を年2回開催  
：新型コロナ感染防止の観点から会員医療機関に勤務する看護師等を対象に看護に関する専門分野の研修会をオンラインで実施しました。
- (4) 栄養部小委員会 研修会を年1回開催  
：新型コロナ感染防止の観点から会員医療機関に勤務する管理栄養士等を対象に栄養に関する専門分野の研修会をオンラインで実施しました。非常食提供マニュアルにもとづき、災害時に連携をとれるよう圏域ごとに実地訓練を行いました。また、熊本市区域の共助支援エリアの見直しを検討しました。
- (5) コ・メディカル部小委員会 研修会を年2回開催  
：新型コロナ感染防止の観点から会員医療機関に勤務するコ・メディカルスタッフ等を対象に専門分野の研修会をオンラインで実施しました。
- (6) 薬剤部小委員会 研修会  
：新型コロナ感染防止の観点から会員医療機関に勤務する薬剤師等を対象に薬剤に関する専門分野の研修会は実施しませんでした。
- (7) 事務長会 研修会を年1回開催  
：新型コロナ感染防止の観点から会員医療機関に勤務する事務長等を対象に医療経営管理等について研修会をオンラインで実施しました。
- (8) その他各種委員会  
：熊本県・熊本市等の開催する検討会への委員派遣、内容検討についての意見具申等を通じて当協会の精神保健医療福祉に関する考え方の実現を図りました。

## 2 機関紙「熊精協会誌」発行事業（精神保健医療福祉に関する普及及び啓発事業）

- 事業内容 : 会員相互間の情報交換や学術広報を目的として理事会議事録、学術講演録等を掲載した機関紙「熊精協会誌」を年に4回発行（発行部数350部）し、会員及び関係機関に配布しました。熊精協ホームページで会員相互間の情報提供や各種事業の広報をホームページで行いました。
- 協会誌編集委員会 4回実施（6/2、9/1、12/1、3/2）

## 3 精神障害者リハビリ事業

### (1) くませいフェスタ事業（くませいフェスタ実行委員会）

- 事業内容 : 会員医療機関の相互交流や精神障害者のリハビリの一環として会員医療機関に入院している精神障害者を対象としたレクリエーション大会（くませいフェスタ）は、新型コロナ感染防止の観点から実施しませんでした。

(2) 作品展示への事業協力（看護部小委員会、コメディカル部小委員会）

- ・「熊本県精神保健福祉大会」、「心の健康フェスタ精神障害者作品展示」の中止により作品展示に協力は行われませんでした。

その他事業 2	: 県・市からの委託事業
---------	--------------

1 精神障害者搬送業務

事業内容 : 精神疾患の急発または急変のため医療及び保護を必要とする者に迅速かつ適切な医療を提供するため、措置入院患者、医療保護入院患者を医療機関へ搬送する業務を行いました。

実績 : 熊本県内 7 件（内熊本市 3 件）

2 精神障がい者地域移行支援事業及び研修会開催事業

事業内容 : 退院可能精神障害者に対し地域体制整備アドバイザーによる退院に向けた個別支援を提供する事業を行いました。また、精神障がい者の円滑な退院、地域移行を図るため、研修会を行なう。

実績

- ・地域体制整備アドバイザー配置事業  
熊本市関係 3 名配置
- ・新型コロナウイルス感染防止の観点から精神障害者地域移行研修会等は実施しませんでした。

3. 熊本こころのケアセンター事業

事業目的 : 熊本地震と令和 2 年 7 月豪雨による被災者の心の問題に対応するため、次の活動を行い被災地域の精神保健福祉機能を向上させ、被災者の健康的な生活の実現に取り組みました。平成 4 年度からは、県でこころのケアセンターをを引き継ぎ、規模を縮小して、県精神保健福祉センター内に設置することとなっております。

活動内容

- (1) 被災者への相談支援等
  - ・電話や来所による相談、仮設住宅入居者等への訪問支援
  - ・仮設住宅における相談会等の開催
  - ・健康調査の実施
- (2) 人材育成
  - ・市町村保健師、学校関係者、保育士など被災者の心のケアに携わる地域の支援者やボランティア等に対する研修の実施
  - ・被災市町村の一般住民を対象とした災害時心のケア研修会の開催
- (3) 支援者の支援
  - ・被災者の心のケアに従事する市町村職員等への技術的助言
  - ・被災者の心のケアに従事する市町村職員等のメンタルヘルスケア
- (4) 医療と保健のネットワーク形成等

- ・関係団体との連携・協働の調整
- ・被災市町村におけるデータの収集整理、分析、検討等

(5)普及啓発

- ・一般県民、被災者、支援者向けのメンタルヘルスケアに関する情報の発信、啓発パンフレットの作成、講演会等の開催

実 績	(1)被災者への相談支援			
	電話相談	150 件		
	来所相談	2 件		
	訪問相談	11 件		
	相談会等での相談	0 件		
	【 計	163 件	】	
	健康調査	2,913 人		
	(2)人材育成			
	研修会の開催	3 回	受講者	113 人
	研修会への講師派遣	6 回	受講者	412 人
	【 計	9 回	受講者	525 人
	(3)支援者の支援			
	支援に関する相談対応	69 件		
	ケース会議出席	35 件		
	【 計	104 件	】	
	(4)医療と保健のネットワーク形成等			
	市町村等との協議	49 件		
	関係機関主催会議への出席	21 件		
	(5)普及啓発			
	一般向け講演会等	0 件		
	情報発信	5 件		
	啓発冊子配布部数	4,012 部		

その他事項 : 関連団体への支援事業他
---------------------

1 関連団体への支援事業

熊本県精神科病院協同組合等への協力支援を行いました。

- (1) 熊本県精神科病院協同組合
  - ・「あかねクリーン」に対する営業協力等
- (2) 熊本県精神保健福祉協会の事業
- (3) 熊本県精神保健福祉センターの事業

## 2 共催・後援

- ・九州作業療法士会 2021in 熊本の後援 (03/6/19~20)
- ・Depression Web Seminar の共催 (03/10/20)
- ・第 31 回日本嗜癮行動学会熊本大会の後援 (03/11/5~6)
- ・第 17 回熊本作業療法学会 (04/1/22~23)
- ・認知症市民フォーラム in うき 2021 の後援 (04/2)
- ・第 14 回熊本県医療・保健・福祉連携学会の協賛 (04/2/27)
- ・令和 3 年度熊本県弁護士会自殺対策シンポジウムの後援 (04/3/20)
- ・(公社) 全日本断酒連盟主催・NPO 法人熊本県断酒友の会主管第 36 回九州ブロック (熊本) 大会の後援 (04/6/5)
- ・第 46 回日本自殺予防学会総会の後援 (04/9/9~11)

## 3 各関係機関との連携

関係機関等の要請に応じ、各種審査会や協議会等への協力支援を行いました。

(審査会等への出席) 熊本県精神医療審査会など

(会議等への出席) 熊本県医療審議会、熊本県自殺対策連絡協議会など

(医師等の推薦) 心神喪失者等医療観察法に基づく精神保健判定医等の推薦

(その他) くまもと自殺予防医療サポートネットワーク事業

## 4 九精協・日精協及び関連機関の事業支援

- (1) 九精協 新型コロナウイルス感染症のため各会議、研修会等中止又は次年度へ順延
- (2) 日精協熊本県支部 第 1 回熊本県四病院団体会長・支部長懇談会 (03/11/5)  
熊本県四病院合同研修会を実施 (04/3/11)

## 5 その他

- (1) 会員の入会・退会について  
入会：なし  
退会：ゆたか医院 穂月清勝
- (2) 要望等について 特になし

## 1 学術講演会

	開催日	演題	講師
1	R3年7月15日	不安症状を伴ううつ病に相応しい薬物療法を考える	昭和大学医学部 精神医学講座 准教授 高塩 理先生
2	R3年9月16日	精神障がい者スポーツが教えてくれる薬物療法とリハビリ ～統合失調症を中心に～	特定医療法人大阪精神医学研究所 新阿武山病院 院長 岡村 武彦先生
3	R3年11月18日	パーソナルリハビリを目指したADHD治療	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 知的・発達障害研究部 部長 岡田 俊先生
4	R4年1月20日	うつ病診断と治療の基本的スキルとこつ～熊大病院の新しい磁気刺激療法を紹介も含めて～	熊本大学大学院生命科学研究部 神経精神医学講座 教授 竹林 実先生
5	R4年3月17日	20年先を見据えた精神科病院づくり～登りは体力 下りは技術～	社会医療法人智徳会 未来の風せいわ病院 理事長 智田文徳 先生

## 2 研修会

### (1) 看護部小委員会

	開催日	会場	内容
1	R3年6月19日 第80回研修会	オンライン研修会	新型コロナウイルス感染症 第2回多数陽性者発生時対応シミュレーション Web 研修会
2	R3年12月9日 第81回研修会	オンライン研修会	講演「看護管理って何なの？」 講師：日本精神科看護協会 理事 仲野 栄先生

### (1) 栄養部小委員会

	開催日	会場	内容
1	R3年6月3日	オンライン研修会	シンポジウム：基調講演「災害多発時代を栄養士はどう乗り切るか」 講師：徳島県栄養士会 JDA-DAT リーダー 盛岡 和代先生 シンポジスト： 希望ヶ丘病院 渡辺 智美先生 浅井病院 五木田 有子先生 練馬光が丘病院 広瀬 桂子先生 吉田病院 藤田 多鶴先生 講演「熊本地震の経験と教訓を将来に繋げる」 講師：益城病院 井上 さとみ先生



(1) コ・メディカル部小委員会

	開催日	会場	内容
1	R3年6月15日 第58回	オンライン研修会	講演「依存症とうつ・自殺、コロナ禍のメンタルヘルスについて」 講師：国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 部長 松本 俊彦先生
2	R4年1月17日 第59回	オンライン研修会	講演「東日本大震災から10年、発災当初から相馬広域こころのケアセンター なごみの設立・現在に至るまでの活動を通しての学び」 講師：福島県立医科大学 看護学部 精神看護学 准教授 大川 貴子先生

(1) 事務長会

	開催日	会場	内容
1	R4年2月15日	オンライン研修会	研修名「医師の時間外労働の上限規制適用へ向けて ～病院が取り組むべき事項、スケジュール～」 担当：熊本県医療勤務改善支援センター 医療労務管理アドバイザー 木下 大二郎氏 研修名：「宿日直許可や研鑽等の労働時間法制について」 担当：厚生労働省 熊本労働局 雇用環境・均等室 雇用環境改善・均等推進監理官 吉津 尚治氏

# 令和3年度 事業実績

## 1 事業運営

事業種別	事業所名	事業内容
第2種社会福祉事業 (障害福祉サービス事業の経営)	熊本県あかね荘	自立訓練(生活訓練)事業 (定員40人)
		宿泊型自立訓練事業 (定員40人)
		短期入所事業 (定員2人)
	熊本県あかねホーム	共同生活援助事業 (定員10人)
	熊本県あかねワークセンター	就労継続支援B型事業 (定員30人)

## 2 月別利用者実績

月別	利用者数	あかね荘		あかねホーム		あかねワークセンター		計	
		R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度
	月	人	人	人	人	人	人	人	人
	4	46	42	8	9	21	22	75	73
	5	46	44	7	9	20	23	73	76
	6	50	46	7	7	21	23	78	76
	7	46	42	9	7	22	22	77	71
	8	46	44	8	6	23	22	77	72
	9	44	40	9	6	24	22	77	68
	10	44	38	9	7	24	23	77	68
	11	40	38	9	7	23	22	72	67
	12	42	38	9	5	23	22	74	65
	1	40	40	9	5	24	22	73	67
	2	42	36	9	5	22	21	73	62
	3	40	42	9	5	22	20	71	67
	計	526	490	102	78	269	264	897	832
	平均利用者数	44	41	9	7	22	22	75	69

\* 月別利用者数は、自立支援費が日払いであることから、自立支援費請求人数とした。

## 3 利用率

(単位:人)

事業所名	提供サービス		R1年度	R2年度	R3年度
あかね荘	自立訓練(生活訓練)	延べ利用者	6,957	5,755	5,220
		1日平均利用者	25.8	21.4	19.5
		利用率	64.5%	53.5%	48.5%
	宿泊型自立訓練 短期入所	延べ利用者	9,261	7,745	6,953
		1日平均利用者	25.3	21.3	19.1
		利用率	63.3%	52.8%	47.6%

あかねホーム	共同生活援助	延べ利用者	2,994	2,989	2,331
		1日平均利用者	8.2	8.2	6.4
		利用率	82.0%	81.9%	63.9%
あかねワークセンター	就労継続支援B型	延べ利用者	5,650	4,957	4,816
		1日平均利用者	21	18.5	18
		利用率	70.0%	61.4%	59.7%
合計		延べ利用者	24,862	21,446	19,320
		1日平均利用者	80.3	69.4	63
		利用率	66.9%	57.8%	52.5%

\* 利用率:対定員数

#### 4 障害種別利用者数(受給者証標記)

(単位:人)

	精神	知的	身体	重複	計	
あかね荘	29	4	0	1	34	重複の内訳:1(知的・精神)
ホーム	7	3	0	0	10	
ワークセンター	20	5	0	0	25	
計	56	12	0	1	69	重複の内訳:1(知的・精神)

\* 人数は実数

#### 5 サービス管理責任者を中心とした個別支援計画に基づく支援の向上

- (1) 利用者の希望や意向を重視した個別支援計画の策定
- (2) 個別支援計画に基づく統一支援の徹底
- (3) 利用者の人格尊重に基づいた支援の徹底
- (4) スーパービジョンによる支援の徹底
- (5) サービス管理責任者による各種支援計画の管理と指示系統の徹底
- (6) 相談支援事業所との連携強化

## 6 見学者の受入実績

月	機関数(箇所)	人数(名)	備考
4	0	0	利用希望者、行政機関、精神科病院、教育機関等からの見学 尚、4月、5月、6月、8月、9月と2月の見学者が0人となっているのは新型コロナウイルス感染防止対策の影響です 前年度比、機関数で87%、人数で104%でした
5	0	0	
6	0	0	
7	8	27	
8	0	0	
9	0	0	
10	7	22	
11	3	8	
12	4	13	
1	1	4	
2	0	0	
3	3	9	
計	26	83	
1ヶ月平均	2	7	

\* 毎週水曜日午後2時から見学会を実施している。

## 7 職員配置基準数(令和3年4月1日現在)

専従・兼務の別	あかね荘		あかねホーム			あかねワークセンター		
	常勤・専従	常勤・兼務	常勤・専従	常勤・兼務	パート・専従	常勤・専従	常勤・兼務	パート・専従
管理者		1		1			1	
サービス管理責任者		2		1			1	
地域移行支援員		14						
生活支援員							3	
看護職員		1						
職業指導員						1		1
目標工賃達成指導員						1		
世話人				6				
事務員		1						
実人数			17				7	

\* 職員配置については、各事業の定員数に応じた人員配置を行っている。

## 8 住居について

	入所前の住居について(R3年度新規利用者)								
	自宅・アパート等		グループホーム	福祉ホーム	共同住居	入所施設	精神科病院	その他	合計
	単身生活・結婚等の自立生活	親・兄弟等に扶養された生活							
あかね荘	0	1	0	0	0	0	12	0	13
あかねホーム	0	0	0	0	0	1	0	0	1

	退所後の住居について(R3年度訓練終了者)								
	自宅・アパート等		グループホーム	福祉ホーム	共同住居	入所施設	精神科病院	その他	合計
	単身生活・結婚等の自立生活	親・兄弟等に扶養された生活							
あかね荘	1	2	8	0	0	0	4	0	15
あかねホーム	0	0	5	0	0	0	0	0	5

## 9 日中活動について

	退所後の日中活動について(R3年度訓練終了者)								
	就労		B型事業所	就労移行	病院デイケア	入所施設	精神科病院	その他	合計
	一般の事業所に雇用(障害者雇用含む)	A型事業所							
あかね荘	0	2	6	0	1	0	4	2	15
あかねホーム	0	3	1	0	1	0	0	0	5
あかねワークセンター	0	0	0	0	1	1	0	2	4